



JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2016

ウッドデザイン賞 2016

奨励賞【審査委員長賞】

下記の作品は、消費者目線での新たな木づかいを促進する
ウッドデザイン賞の応募の中で、
今後の発展・展開が期待できると認められましたので、これを表彰します。

ソーシャルデザイン部門

組手什協議会による熊本震災支援

組手什おかげまわし協議会
あいちの木で家を作る会
賀露おやじの会
福島県古殿町
登米森林組合
日本の森バイオマスネットワーク

平成28年12月8日

ウッドデザイン賞2016

審査委員長 赤池 学



奨励賞【審査委員長賞】

ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野 イベント・ワークショップ(単発)

組手什協議会による熊本震災支援

熊本県

組手什おかげまわし協議会(愛知)、あいちの木で家を作る会(愛知)、賀露おやじの会(鳥取)、
福島県古殿町(福島)、登米森林組合(宮城)、日本の森バイオマスネットワーク(宮城)

各地の森林から間伐小径材、製材端材より組手什が生産されている。今回の災害支援に向けて、生産地8か所から集荷された。被災地では、森林ボランティアにより届いた当日に配布、組み立てられて避難所へ提供された。さらに避難所の組手什は、仮設住宅へと使い回されつつある。組手什は最長、1600kmの旅をした。

【審査委員会より】

産地協働による被災地支援の取組だが、全国8か所の地域をまたいでの実践はハードルが高いと予想されるが、見事に実現した。組手什そのものは各地域材で生産されるが、形状等は標準化されており、各地域ものが混在しての活用が可能である。短期間で多くの資材を集めることができ、被災地支援と地域材活用の両輪を回す良質な作品である。

【体験・入手方法】

組手什おかげまわし協議会

【費用(事業費 または成果など)】

組手什 5,400本、270万円相当の寄贈

【作品の概要がわかるサイト】

<http://9de10tohikai.web.fc2.com/saigai2016.html>

奨励賞 1